

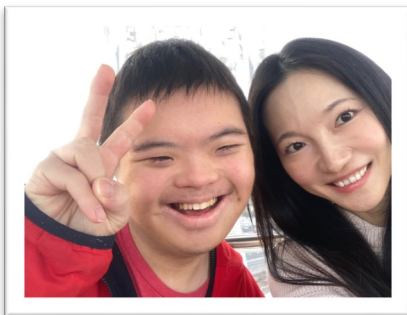
「イエスは涙を流された。」 (新約聖書 ヨハネの福音書11章35節)

「AIに相談しています」「辛い時はAIに話しかけています」という声を相談者から聞くようになったのは、この1-2年のことです。生活のあらゆる場面に浸透した生成AIは、仕事や作業の効率化だけではなく、人間の「心」の領域まで入り込んできていることを実感します。でも、そのように日常的にAIを活用している人がライフ・ホープ・ネットワークに相談をするのはなぜでしょうか。きっとそこに私たち支援者が生身の人間であることの意味があるのではないかと思います。表面的な寄り添いではなく、相談者にとっての最善を本気で考えること。電話口の泣き声が落ち着くまでただ静かに待つこと。一緒に泣くこと。



共に食事をする。抱きしめる。祈ること。喜ぶこと。妊娠・出産という、AIには代行することのできないタスクを支えることができるのは人間です。課題解決に向かう前にまず目の前にいる人と共に生きるという原点を改めて覚えたいと思います。

代表 富田美代子



◆仲間が増えました！

2025年12月より、相場万祐子がパートタイムスタッフ（ホームステイ担当）として加わりました。一昨年にはインターンを経験していて、マイカ（シンシアの息子）やホームステイ卒業生とも仲良しです。新しいメンバーも増えた私たちを引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

2025年度(1-12月) 活動報告

<相談実績(新規相談者数)> Phone/email clients

妊娠 Pregnant	141	相談中に出産を決心：10名
中絶後 Post-abortion	142	ステップ学習開始：39名 ステップ学習修了：10名
その他 Other	7	
合計(人)	290	面談・同行：4名

<ホームステイ実績> Homestays

特別養子縁組 Adoption	2
シングルマザー Single mother	2
その他 Other	0
合計(人)	4

4名の新規ホームステイを受け入れ、それぞれの赤ちゃんの出産を皆で喜ぶことができました。中絶後カウンセリングでは、昨年より取り組んでいた動画制作が完了し、テスト期間を経て4月から動画を使ったカウンセリングを正式に始めることができました。カウンセリング修了者の割合は統計で比較できる限りで過去最も高くなり、効果を感じています。

特別養子縁組を選んだホームステイのインタビュー（抜粋）

1 妊娠がわかった時どう思いましたか？

最初は妊娠に気づいていませんでした。（おそらくつわりで）ご飯を食べられなくなり、体重が1ヶ月で5kg落ちて病院に行ったら、妊娠17週と言われました。最初は「最悪」と思いました。エコーでは人の形が見えました。怖かったです。

2 どうして出産を決めましたか？

実家に住んでいていずればしろと思ったので妊娠を母に言うと、「まさか」という反応でした。最初は中絶するつもりでしたが、本当にそれでいいのか母がいろいろ調べてくれました。中絶後に「後悔した」という話が出てくるし、今から中絶するとなると中期中絶で体の負担が大きいき、少し冷静になって考えました。病院のエコーで人の形を見ていて、中絶しても小さい赤ちゃんの姿を見ることになる、それは殺すことになるのではないかと思う、できない、と思いました。

3 ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

家族以外の人と一緒に生活をしたことがなかったのが心配でしたが、今日までうまくやって来られたと思います。名古屋に引っ越して来て、妊娠を隠さなくて良くなって安心しました。知り合いに会うことを気にせず外出できるようになりました。

4 どうして特別養子縁組を選びましたか？

産むと決めた時から養子縁組かなとは母と話していました。実家にも頼れないし、自分一人では育てられないからです。少し障害があり、仕事を辞めてしまっていて自立できていないので、子どもにいろいろ我慢させてしまおうと思いました。妊娠継続する中で、自分で育てたいと思うこともありましたが、その選択をした場合のために母子寮の見学もさせてもらい、自分でも育てられそうとは思いました。お金がなくてもシングルマザーでやっている人もいます。でも、シングルマザーの人たちはタフな人が多いと聞いて、自分はそのままで頑張れる気がしませんでした。子どもに我慢させてしまふ、チャンスを奪ってしまうのではないかと思いました。それで、自分が育てるよりも養子に出した方が幸せなんじゃないかと思うようになりました。養子に出すことへの不安はありました。どんな人のところに行くのか、将来悩むのではないかなど。でも両親揃っていてもお金にも余裕がある家庭で育った方が精神的にも安定して、いろんな体験もできるのではないかと思いました。

5 実際に出産してどうでしたか？

分娩は10時間ぐらいだったようなのですが、短く感じました。出てくる時は一瞬で、思っていたよりも痛くなかったです。生まれてきた赤ちゃんは、かわいかったです。実際に見てしまうと、一緒に暮らしたいなと思ってしまいました。成長を近くで見守りたいと思いました。でも、幸せになってほしい、自分では幸せにできない、と思いました。

6 養親さんに託した後、どんな気持ちで過ごして来ましたか？

退院の日に初めて養親さんに会って、会ったらすごくいい人でした。養親さんからこれから写真が送られてくるはずなので、楽しみです。悲しいのは時間に任せるしかないのかなと思います。今も、子どもが今何してるかなと思ったり、どうにか育てられなかったのかなと考えたりすることもあります。でもいくら考えてもやっぱり自分で幸せにすることはできません。まずは自分がちゃんと普通に生活を送れるようになりたいと思います。捨てたわけじゃないと伝わるように、毎年手紙を書こうと思っています。

7 これからの目標はありますか？

まずは自立することです。子どもがいつか会いたいと言ってくれた時に会えるように、会った時にがっかりされないようになりたいです。自分を産んだから私が不幸になった、と子どもに思わせたくないです。産んでよかったと伝わる人生を送りたいです。

8 今悩んでいる人にアドバイスはありますか？

一度第三者に相談するのが大事です。産むか中絶するか、どちらにしても冷静になって考える時間が必要です。無責任に産んだ方がいいとは言えないけれど、産めるなら産んだ方がいいと思います。ネットで予定にない妊娠や中絶、養子縁組について調べると妊娠した人を責めるようなコメントが沢山出てくるけど、もう起きてしまった過去のことは変えられないのでこれからどうするか、自分を責めずまずは自分の身体と心を守るためにもLHNなどの団体に相談してほしいです。私は産んでよかったです。今までこんなに大切に思う存在には出会えませんでした。自分が変わるきっかけにもなりました。今までなんとなく生きていて、親にも甘えて、頑張る理由もありませんでした。希死念慮もあり、30歳ぐらいになったら死のうかなと思っていました。でももう死ねなくなりました。ちゃんと生きなきゃ、と思います。生きる理由ができました。



シングルマザーになったホームステイのインタビュー（抜粋）

1 妊娠がわかった時どう思いましたか？

複雑でした。相手がわからなかったので・・・。

つわりっぽいのがあって、まさかと思って妊娠検査薬を使ったら陽性でした。

中絶も考えましたが、自分の年齢と状況を考えたら今後産めないかもしれない、産んだ方がいいかな、と悩みました。金銭面や、誰にもサポートしてもらえない不安が大きかったです。

2 どうしてライフ・ホープ・ネットワークに来ましたか？

病院に行かないといけないうのはわかっていただけ現実を受け止められなくて、相談もできなくて、ようやく行かないとな、と思った時には産むしかなくなっていました。

母子手帳をもらいに役所に行ったら、保健師さんが状況を聞いてくれて、女性相談員も入ってすぐに動いてくれて、母子寮などサポートがあることも教えてもらいました。

それまでは不安しかなかったけど、それを聞いて、なんとかかなるか、と前向きになりました。LHNもそこで紹介してもらいました。

3 ライフ・ホープ・ネットワークでの生活はどうでしたか？

共同生活したことがなかったので、大丈夫かなと最初は不安でしたが、今まで一人だったのと違って誰かがいるという安心感がありました。

夕食はみんなで食べて、そこで話を聞いてくれるのが一番良かったです。今気になっていることや体調面などを話すことができました。

4 出産してどうでしたか？

出産は16時間かかって大変でした！

正直に言うと、生まれた時は可愛いと思えなかったんです。赤ちゃんの顔を見て、誰の子？って。入院生活の中で徐々に可愛いなと思えてきました。そう思えてきたのは・・・母性ですかね？授乳をしたら一生懸命飲んでくれて、一生懸命泣いて、一緒に過ごすうちに、この子も頑張ってるな、私も頑張らないと、と思いました。

5 シングルマザーを選択したのはなぜですか？

実はつい最近まで、養子に出した方がこの子のためではないかも考えていました。これから先のこと、運動会で父親がいない時など寂しい思いをさせるのではないかと、父親がいないと幸せになれないのではないかと考えました。ネットでも両方の選択について調べました。区役所の相談員さんやシンシアがずっと話を聞いてくれていて、そういう人たちがいるから頑張ろうと思えました。

6 これからのことについてはどうですか？

普通の生活ができるようにしたいです。

まずは母子寮に入りますが、いずれは自分でアパートを借りて、仕事をして、自立したいです。子どもが友達を家に連れて来れるように、それまでにアパートを借りられるようにしたいと思います。子どもには、父親がなくて、おじいちゃんおばあちゃんもないので、その分周りの人たちから愛されてほしいです。

2025年度会計報告

単位：円 JPY

項目		2025年実績	備考
前期繰越(A) Opening balance		3,595,659	
収入 Income	米国寄付金 Donation from USA	4,291,529	
	教会献金 Donation from church	670,697	
	個人献金 Donation from individuals	989,000	
	財団助成金 Domestic fund	500,000	ミダス財団
	受取利息 Interest	2,474	
	LHN収入合計(B) Income total	6,453,700	
支出 Expenditure	人件費 Personnel expenses	1,336,117	スタッフ給与、ホームステイの加I就労
	通信・交通費 Communication/Transportation	293,540	
	光熱水料費 Utility	70,000	電気・ガス・水道
	家賃・駐車場 Rent/parking	720,000	
	広告宣伝費 Promotion	24,336	20周年記念誌制作等
	管理諸費 Administration	326,765	税理士・司法書士・振込料
	雑支出 Other	83,019	修繕費等
	LHN経費合計 Expenditure subtotal	2,853,777	
	収益事業経費 Café expenditure	2,969,624	
	支出合計 Expenditure total (C)	5,823,401	
経費外収支 Asset adjustment (D)		1,281,825	動画プロジェクトの前年より繰越分含む
現預金残高(A+B-C-D) Closing balance		2,944,133	

2025年も多くのご寄付をいただき、経済的が必要が満たされたことに心より感謝申し上げます。また、おむつや粉ミルクなどの物品の寄付も多数いただきました。ありがとうございます。

また、初めて日本国内の財団からの助成金をいただきました。助成の目的「日本国内で支援を必要とする子どもたちのための支援および困難を抱える妊産婦支援」に沿って使わせていただきます。

サポーター募集中です！

ライフ・ホープ・ネットワークは皆様からのご寄付により運営されているボランティア団体です。支援を必要としている女性たちと小さな命のために安定的に活動を続けるため、一人でも多くの方にサポートいただければ幸いです。

銀行振込

● ゆうちょ銀行の口座から
00850-5-131374
「ライフ・ホープ・ネットワーク」

● 他行の口座から
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900 / 店番 089）・当座
口座番号 0131374

クレジットカード

Ready For (レディ・フォー) のサイトからクレジットカード決済ができるようになりました！
<https://readyfor.jp/projects/lifehopenetwork>（毎月定額のご寄付になります）



一般社団法人 ライフ・ホープ・ネットワーク

- 事務局：〒454-0023 名古屋市中川区石場町2-23-2 ● TEL：052-363-3393
- カフェモナミ：〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-29-13 ● Email: support@lifehopenet.com

<https://www.lifehopenet.com/>

